

水産物の輸出拡大と 品目団体の状況について

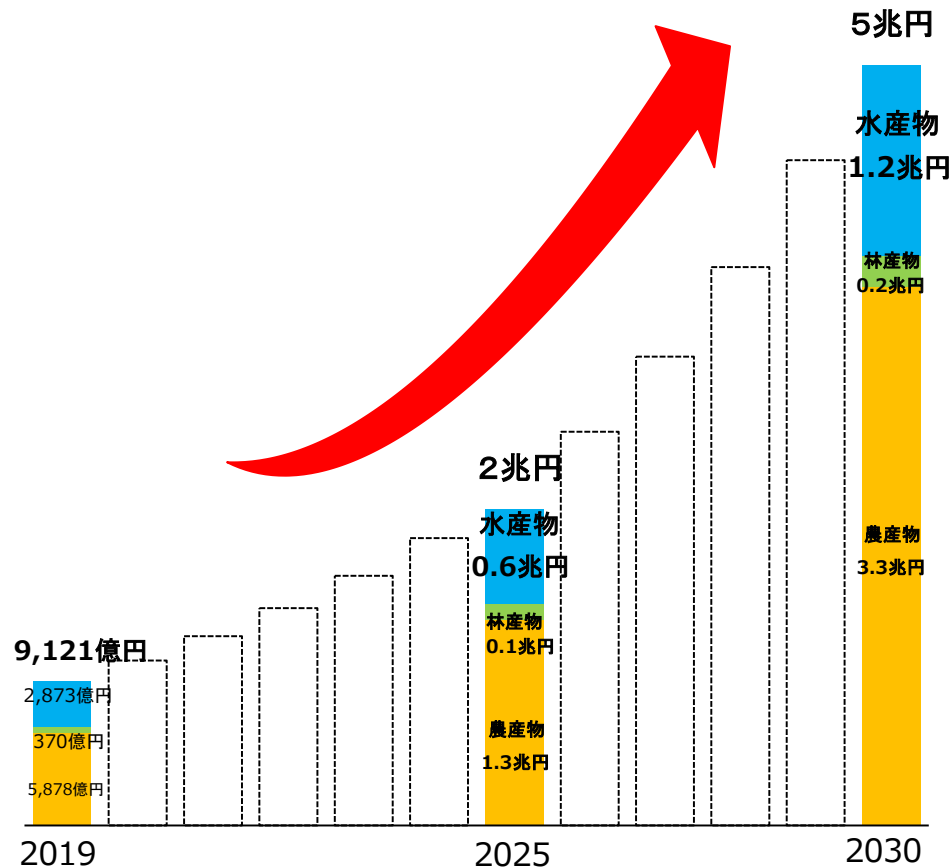
令和5年3月
水産庁

農林水産物・食品の輸出促進について

○2019年11月、「**農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律**」が成立（令和2年4月1日施行、令和4年10月1日改正）し、**食料・農業・農村基本計画**（令和2年3月31日閣議決定）において、**2030年までに農林水産物・食品の輸出額を5兆円とする目標**を設定。

○2020年12月、総理大臣を本部長とする「**農林水産業・地域の活力創造本部**」において**2025年、2030年目標の達成に向けた戦略である「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」を決定**（令和4年12月改訂）。

●農林水産物・食品の輸出額目標



●輸出拡大実行戦略に基づく具体的な施策（輸出重点品目の選定）

海外で評価される日本の強みを有し、輸出拡大に向けた取組の余地の大きい**29品目**を重点品目に選定し、集中的に支援。

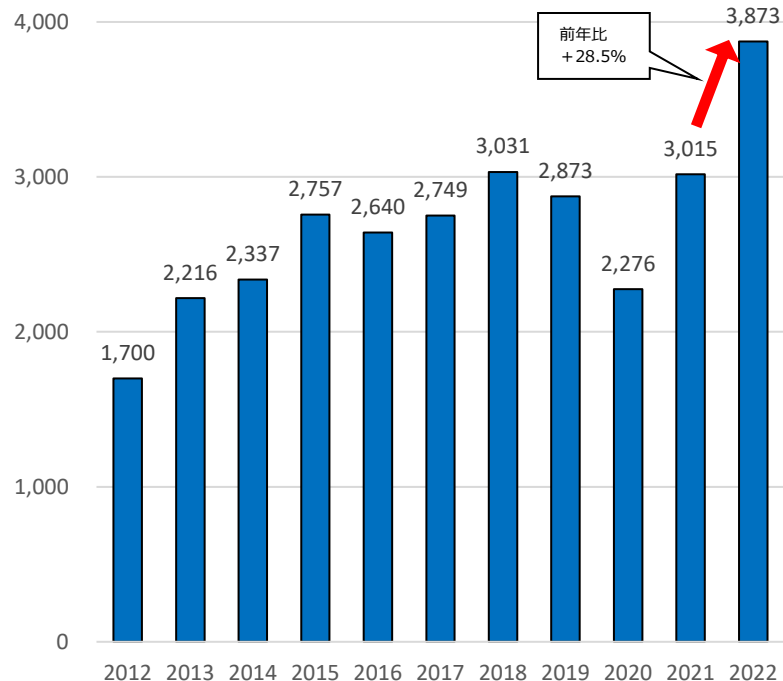
輸出重点品目	
牛肉	ぶり
豚肉、鶏肉	たい
鶏卵	ホタテ貝
牛乳・乳製品	真珠
果樹(りんご、ぶどう、もも、かんきつ、かき・かき加工品)、野菜(いちご)	錦鯉
野菜(かんしょ等)	清涼飲料水
切り花	菓子
茶	ソース混合調味料
コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品	味噌・醤油
製材	清酒(日本酒)
合板	ウイスキー
	本格焼酎・泡盛

水産物の輸出状況

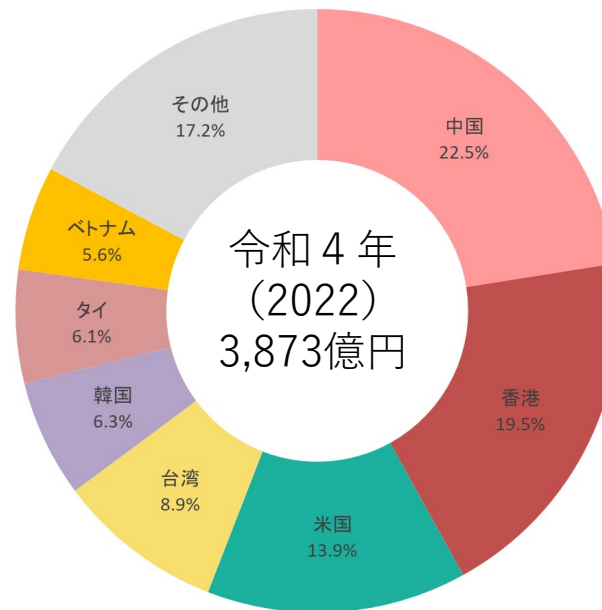
- 「食料・農業・農村基本計画」において農林水産物・食品の輸出額の達成目標は、2030年に5兆円（**うち水産物 1.2兆円**）とされている。
- 2022年の水産物輸出実績は3,873億円。農林水産物・食品輸出額 1兆4,148億円の27.4%を占める。前年比では、28.5%の増加。
- 国・地域別では、中国、香港、米国で約半分を占め、品目別では、ホタテ貝、ぶり、真珠等が上位を占めている。

漁業・養殖業の合計値

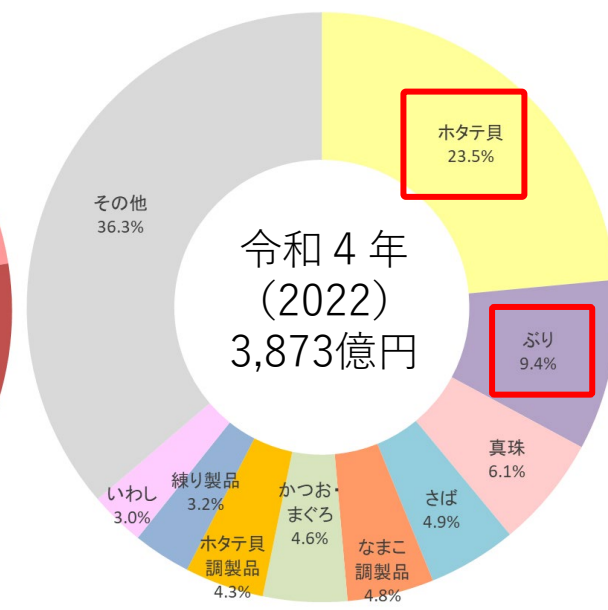
水産物輸出額の推移(億円)



国・地域別輸出実績(2022)

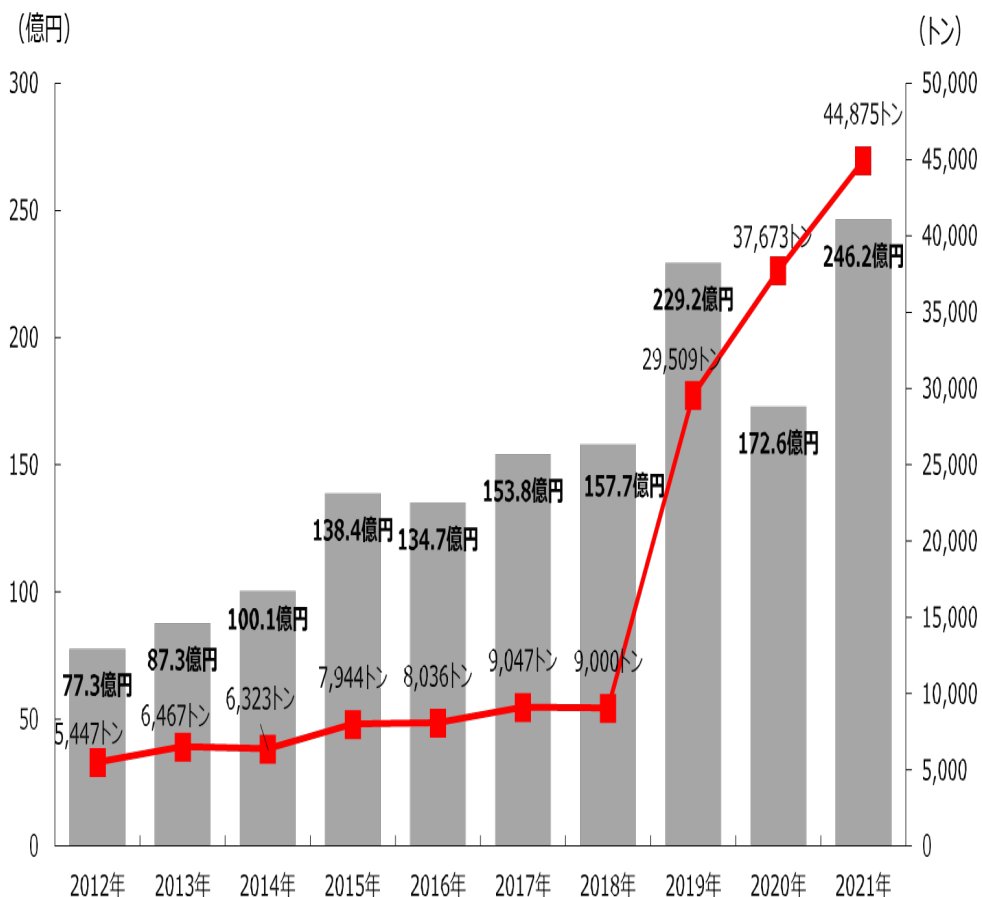


品目別輸出実績(2022)



水産物の輸出状況

ぶりの輸出実績（2012～2021年）



注：ぶりは、既存の統計品目番号（フィレ）に加え、2019年1月の分類変更に伴いフィレ以外の統計品目番号（ラウンド等）が新たに追加されたため、前年との単純比較はできない。

ぶりの国・地域別内訳 2021年

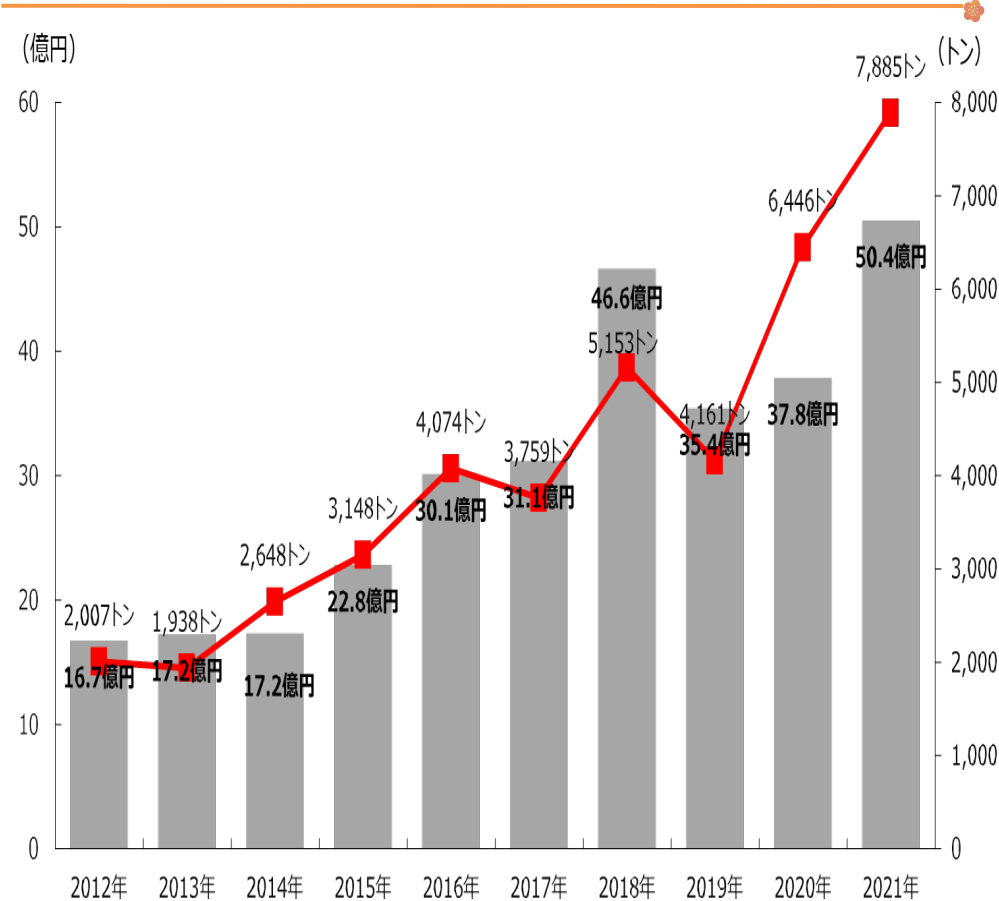
□2021年は、輸出額246億円と過去最高を記録（前年比+43%）。
□輸出額の多くが米国向け（輸出額全体の64%）。

	国 名	輸出額 (量)	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	アメリカ合衆国	158.0億円 (9,444トン)	+64.8%	64.2%
2	ベトナム	29.6億円 (20,290トン)	+7.8%	12.0%
3	香港	15.4億円 (955トン)	+34.2%	6.2%
4	中華人民共和国	11.5億円 (4,840トン)	▲7.3%	4.7%
5	カナダ	4.0億円 (216トン)	+152.5%	1.6%
-	その他	27.7億円 (9,129トン)	+16.0%	11.3%
参考	EU	2.3億円 (128トン)	▲19.4%	0.9%
-	世界	246.2億円 (44,875トン)	+42.6%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。
EUの数値については外数。

水産物の輸出状況

たいの輸出実績（2012～2021年）



たいの国・地域別内訳 2021年

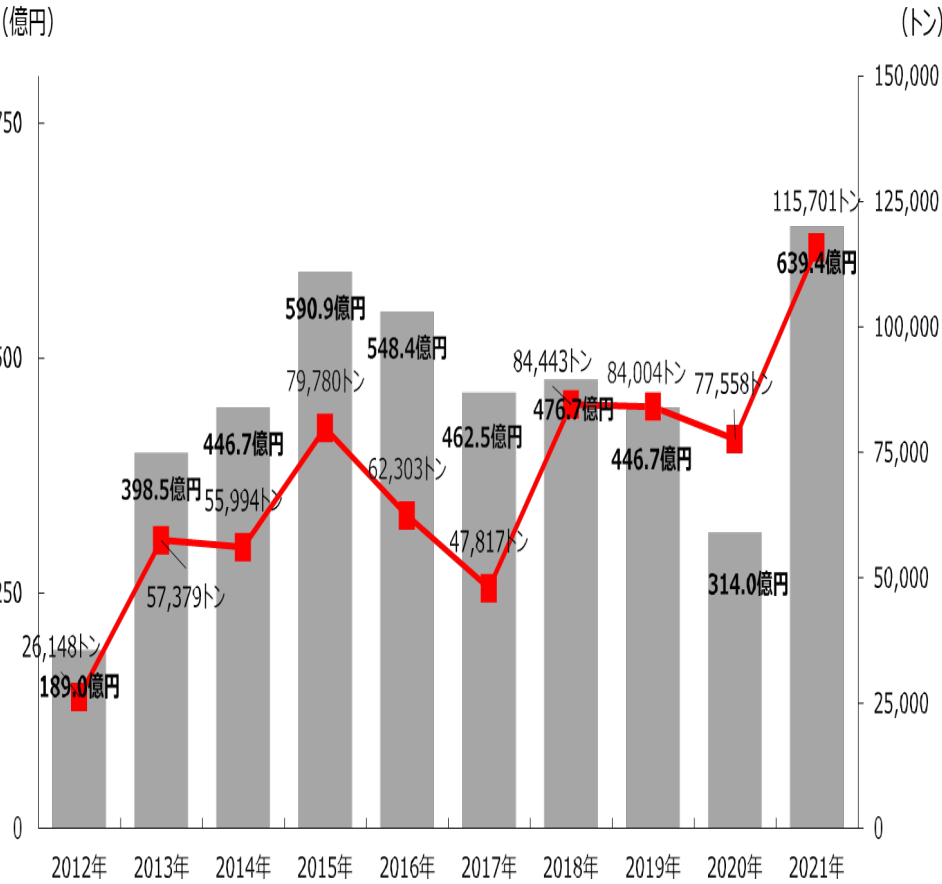
□2021年は、輸出額50億円と過去最高を記録（前年比+33%）。
□韓国（前年比+46%）、米国（同+64%）向けの伸びが大きい。

	国 名	輸出額（量）	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	大韓民国	33.0億円（4,840トン）	+46.1%	65.4%
2	台湾	3.8億円（414トン）	+5.9%	7.6%
3	アメリカ合衆国	3.6億円（260トン）	+63.9%	7.1%
4	タイ	3.2億円（987トン）	+13.2%	6.3%
5	中華人民共和国	2.8億円（773トン）	▲26.9%	5.6%
-	その他	4.0億円（610トン）	+47.8%	8.0%
-	世界	50.4億円（7,885トン）	+33.4%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。
EUの数値については外数。

水産物の輸出状況

ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍等）の輸出実績（2012～2021年）



ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍等）の国・地域別内訳 2021年

□2021年は、輸出額639億円と過去最高を記録（前年比+104%）。
□中国（前年比+131%）、米国（同+278%）向けの伸びが大きい。

	国 名	輸出額（量）	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	中華人民共和国	336.7億円（94,188トン）	+131.1%	52.6%
2	台湾	86.9億円（3,015トン）	+52.5%	13.6%
3	アメリカ合衆国	60.1億円（1,872トン）	+278.5%	9.4%
4	大韓民国	46.3億円（10,630トン）	+43.1%	7.2%
5	香港	43.2億円（3,119トン）	+39.9%	6.8%
-	その他	66.3億円（2,876トン）	+105.6%	10.4%
参考	EU	37.6億円（1,272トン）	+143.0%	5.9%
-	世界	639.4億円（115,701トン）	+103.7%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。
EUの数値については外数。

品目団体による取組

- 輸出重点品目について、農林水産物・食品輸出促進団体（いわゆる品目団体）が設立。
- 水産物関係では、昨年12月に新たに重点品目に追加された「錦鯉」以外の4品目（ぶり・たい、ホタテ貝、真珠）について品目団体が設立。
- 特に真珠については、昨年10月に農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律（令和元年法律第57号）に基づく認定を受け、「認定」品目団体化。
- 各品目団体が「品目団体輸出力強化支援事業」を活用し、海外における販路開拓活動や、業界共通の課題解決に向けた取組、海外におけるジャパンプランドの確立に向けた取組等を実施中。

●水産物関係の品目団体

①ぶり・たい

- ・名称：日本養殖魚類輸出推進協会
- ・設立日：令和4年3月30日

②ホタテ貝

- ・名称：日本ほたて貝輸出振興協会
- ・設立日：令和3年12月3日

③真珠

- ・名称：（一社）日本真珠振興会
- ・設立日：昭和31年9月28日
- ・認定日：令和4年10月31日

④錦鯉

- ※（一社）全日本錦鯉振興会が品目団体認定を目指し準備中

●品目団体を通じた輸出拡大の取組への支援

認定農林水産物・食品輸出促進団体（品目団体）

事務局

品目の関係者の意見を集約しオールジャパンとしての活動を企画・運営

- ・共通課題、情報の集約
- ・会費等により活動経費を拠出

業界全体の輸出力強化につながる活動を企画・展開

構成員※

生産、流通、販売まで幅広い輸出関係者が連携

生産・製造分野

- ・生産者、JA
- ・産地協議会
- ・食品メーカー等

流通分野

- ・卸売業者
- ・運送業者等

販売分野

- ・輸出商社等

この他にも必要に応じ、自治体や関係団体等、幅広い関係者と連携し活動を展開

政府

- ・法律による認定
- ・活動支援

JETRO FAMIC

助言・援助・協力

※構成員…直接の会員に加え、会員になっている団体の会員（孫会員）を含むことも団体の判断により可能。

品目団体輸出力強化支援事業

品目団体が輸出重点品目についてオールジャパンで行う海外販路開拓・市場調査等の輸出力強化に向けた取組を支援。

<支援メニュー>

- ① 輸出ターゲット国の市場調査・規制調査
- ② 海外におけるジャパンプランドの確立
- ③ 業界関係者共通の輸出に関する課題解決に向けた実証等
- ④ 海外における販路開拓活動
- ⑤ 輸出促進のための規格の策定・普及
- ⑥ 国内事業者の水平連携に向けた体制整備
- ⑦ 輸出手続きや商談等の専門家による支援
- ⑧ 新規輸出国開拓に向けた調査及び輸送試験